

## 自転車の交通違反に青切符が導入されます

令和8年4月1日から

対象年齢 **16歳** 以上

自転車の交通事故を防ぐため、交通事故につながる危険な運転行為などの悪質・危険な交通違反に**交通反則通告制度（青切符）**が導入され、検挙後の手続きが変わります。

なお、**酒気帯び運転等**の重大な違反については、従来どおり、刑事処分の対象となります。

反則金額は**原付バイク**と同等  
(最高額12,000円)

### 対象となる行為 **113種類**



### 交通反則通告制度（青切符導入後の流れ）

令和8年4月1日から、16歳以上の自転車の運転者による一定の交通違反（反則行為）に対して、交通反則通告制度（いわゆる青切符）による違反処理（反則金が科せられる）が行われます。

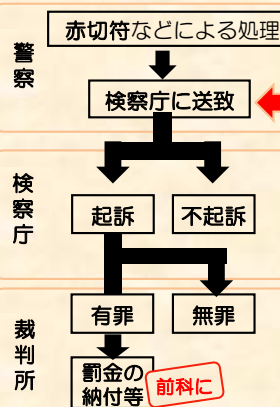
#### 自転車による違反行為 **※原則は指導警告**

- 交通事故につながる危険な運転行為を行った場合
- 警察官の警告に従わずに違反行為を継続した場合

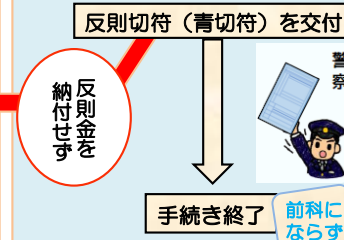
反則行為とならない違反行為  
(酒気帯び運転等)

反則行為となる違反行為  
(信号無視、一時不停止等)

#### 刑事手続き



#### 交通反則通告制度



※ 詳しくは、福岡県警察のホームページで掲載している「自転車の青切符導入」をご参照ください。  
また、自転車の交通ルールが学べる「自転車の学校」も掲載していますので、ぜひご確認ください。



※ 反則行為であっても、刑事手続となる場合があります  
・ 16歳未満である場合  
・ 交通事故を起こした場合等  
※ 反則金を納付しない場合には、刑事手続に移行します。